**（3）商工業の振興**

八雲町の商工業は、その大多数が小規模事業者であり、地域経済の担い手として重要な役割を果たしております。

商工会においては、小規模事業者への支援強化を計画的に実施することとしており、町としても育成資金の融資枠の維持と保証料の助成について継続実施するとともに、町内の産業・経済団体との連携強化を図り、町内経済の活性化に努めてまいります。

熊石地域で展開しております海洋深層水事業については、新たな事業展開を模索するとともに、引き続き企業誘致やPR活動に取り組んでまいります。

**（4）観光・地域物産の振興**

北海道新幹線開業により、道南のゲートウェイとして定着しつつある噴火湾パノラマパークの利用者は確実に増加傾向にあります。

これまで北海道新幹線開業を見据えた取り組みを行ってまいりましたが、今後は、北海道新幹線の停車駅となる（仮称）「新八雲駅」の開業に向けた取り組みや、海外市場も視野に入れた、「食」と「観光」による取り組みを、関係団体や近隣町と連携して進めてまいります。

熊石地域では、道南休養村を中心に、観光客等の誘致と交流人口の拡大を図り、観光振興に努めてまいります。

**（5）新産業の育成と雇用環境の整備**

少子高齢化と人口減少の中、八雲町においても産業の担い手不足が今後、顕著になってくることは明らかであります。

この問題は、各産業それぞれの問題ではなく、産業・経済団体と町が一丸となって解決に向けた取り組みを進めることが重要であると考えております。このため、将来に向けて必要な施策のあり方や実効性について、さまざまな観点から検討を進めてまいります。

## 3．道南北部の中心性をより高めるまちづくり

**（1）土地の有効活用と市街地、集落環境の整備**

道道の整備については、3・4・2出雲通街路整備事業第二期工事の早期着工を北海道に要請するとともに、3・4・7本町大通の整備についても事業着手を要請してまいります。

町営住宅の整備・改修については、公営住宅等長寿命化計画に沿って、平成29年度も昨年に引き続き出雲町A団地に2棟10戸を建設してまいります。

空家等対策については、八雲町空家等対策計画に基づき、平成29年度から本格的に空家等対策を総合的かつ計画的に実施してまいります。

また、将来の人口減少・少子高齢化を背景として、持続可能でコンパクトな市街地形成と都市機能の誘導を図るための立地適正化計画策定業務を、平成29年度から2か年にわたり実施してまいります。

**（2）道路の整備**

国道5号および277号、道道八雲厚沢部線改良事業の整備促進等について、引き続き関係機関への要望を続けてまいります。

国道229号沿線等の高潮・越波対策は、順調に工事が進められておりますが、引き続き要望箇所の整備促進に向けて要請活動を続けてまいります。

町道については、八雲総合病院の改築に伴う東雲幹線道路改良事業として、平成29年度は道路工事の一部を着工いたします。また、橋梁の長寿命化修繕事業を推進するとともに、町民が安全に生活できるよう計画的な道路整備に取り組んでまいります。

**（3）公共交通の充実**

公共交通である路線バスは、現行路線の確保や利便性向上の対策として、総合病院への乗り入れなど、バス事業者へ要請してまいります。また、八雲・熊石地域間の路線バスは、交流促進を図るうえで不可欠であることから、将来的な需要と財政負担を勘案した検討を継続してまいります。

昨年3月26日、道民の長年の悲願でありました北海道新幹線が開業いたしました。今後も、札幌開業の早期実現に向けた活動を沿線自治体・関係機関と連携しながら取り組むとともに、新幹線建設工事の円滑な推進に努めてまいります。

北海道新幹線（仮称）「新八雲駅」は、春日地区への設置が予定されており、駅周辺の整備方針、土地利用計画および各種施設のデザイン計画等を含めた駅周辺地区の整備基本計画の策定に着手してまいります。

**（4）航空基地との連携**

航空自衛隊基地は、地域経済への波及のみならず町の振興にさまざまな関わりを持つとともに、災害時における支援活動など町民生活と密接な関係にあります。

自衛隊基地の有効活用、現部隊の維持と新たな部隊の配置を目指し、また、防衛施設周辺整備事業の拡充等についても引き続き要請活動をしてまいります。